

美桑が丘

《 校 訓 》

『創造敬愛』

下川中学校 学校だより
第12号 R4.3.24発行

旅立ちの日に

校長 藤弘 のぞみ

「白い光の中に 山なみは萌えて……」

今から31年前の3月、埼玉県秩父市の某中学校教職員が3年生を送る会で、初めて披露した歌である。作詞は校長、作曲は音楽科教諭であった。荒れる中学校で、卒業生に向けて、教職員の「生徒を愛おしむ心」を届けたいという一念にかられて、作詞1日、作曲15分で作られた楽曲であった。

31年前といえば、私が教師となって7年が過ぎた頃だ。教職2校目の中学校は、一部の生徒によって、まさに「荒れて」いた。メディアの報道が「荒れ」を強調したり、雑誌が学校現場の一部を誤った認識で取り上げる傾向もなくはなかったため、「学校の荒れ」はより既成事実となっていたように思う。卒業式といえば『巣立ちの歌』が定番であった時代に、『旅立ちの日に』を初めて耳にしたとき、教師だからこそ作れたあの歌詞に、20代の新米教師として心がふるえた。生徒指導は休日も夜中もなく大変だったが、教職員が生徒のために練習を積んで、サプライズで合唱や寸劇を披露することが時間的に許された、よき時代でもあった。

15年前、年度途中で3学年を離脱して小学校に赴任することになった日、学年の生徒240名がサプライズで『旅立ちの日に』を歌って送り出してくれた。音楽室から聞こえてくることもなかったのに、いつ、どこで、この人数で合唱の形にしたのだろう。3年生全員が絶対にもらさない約束を完璧に守り、密かに自主的に練習して2週間で完成させたという。本当に驚いた。卒業式にはかなり早い11月のことであった。

3年生は卒業した。各自が自分の手で未来を切り拓いていくことだろう。

1, 2年生の皆さんは、下川中学校がこの先どうあるべきかを真剣に考えてほしい。授業をどう受けるべきか。家庭でどう学習すべきか。学校行事はどうあって、どう取り組むべきか。友と語り、考え、よりよい学校生活を創造してほしい。何より友への敬愛を忘れてはならない。



生徒の皆さん、地域、保護者の皆様には、いつも学校だよりをお読みいただきありがとうございます。3年間36回の長期連載も、これで終了いたします。皆様のますますのご発展をお祈り申し上げ、ここに筆を置きます。お世話になり、ありがとうございました。

第75回卒業証書授与式

11日、10時より本校体育館において、第75回卒業証書授与式を行いました。卒業生、卒業生の保護者・町長・教育長・PTA会長の皆様と教職員、2年生が別室で視聴する形で行いました。今年度の卒業生26名それぞれが藤弘校長から卒業証書を受け取り、保護者の方々へ感謝の手紙を手渡しました。その後、卒業生代表の斎藤丈喜さんから3年間の思い出と、支えてくれた友人や保護者など全ての人に感謝の言葉を述べました。感動のなか、立派に巣立っていきました。卒業生のこれからの人生に多くの幸多からんことを願っています。



交通安全・防犯標語 表彰

■交通安全・防犯の標語を下川町交通安全防犯協会様より表彰いただきました。

<交通安全の部>

【最優秀賞】

堀川 結衣さん「守ろうよ 自分と相手と その家族」

【優秀賞】

岩田 大輝さん「周り見ず 歩きスマホは 身の危険」

佐藤 唯さん「気をつけて 見えない位置に 人がいる」

【佳作】

宮島ひかりさん, 大西 滯さん

<防犯の部>

【最優秀賞】

斎藤 丈喜さん「町民の あいさつつながる 防犯に」

【優秀賞】

水間 絢仁さん「声出して かならず助ける 人がいる」

立花 晃士さん「アカウント 大事にしなきゃ あかんのよ」

【佳作】

松岡 沙奈さん 遠藤 美奈さん



北海道教育実践表彰

■学校の教育活動に意欲的に取り組み、優れた実践活動を行っている若手教員の中から全道13名が表彰されました。本校の鶴田翔先生も、上川教育局長より「これからも活躍してください」と表彰を受けました。



4月の予定

- 4月 1日(金) 年度始休業 ~5日
- 6日(水) 着任式・始業式・入学式
- 7日(木) 二計測, 視力・聴力検査
- 8日(金) 前期懇話会, 常任委員会
- 11日(月) 対面式
- 13日(水) 学力テスト(全学年), 職員会議
- 14日(木) 二者面談 ~27日
- 17日(日) 第1回参観日, PTA 総会
- 18日(月) 研修日
- 19日(火) 全国学力・学習状況調査(3年生)
- 20日(水) 交通安全教室
- 22日(金) 内科健診(全学年)
- 25日(月) 振替休業(4/17), 諸費納入日
- 26日(火) 生徒総会
- 28日(木) PTA 運営委員会合同会議
- 29日(金) 昭和の日

保護者の皆様へ

御心配をおかけしてきた落書き、靴の紛失の件につきましては、「自分がやりました。申し訳ありません。」と申し出た生徒がおり、関係の保護者・生徒間で謝罪や話し合いをもちました。制服の件については未だ不明のままです。PTA 役員様には12月~3月まで校内巡回を行っていただき感謝を申し上げます。本校は今後ともお子様の心に寄り添いながら人としてのよりよい姿を求めてまいります。新年度からは、靴の預かりやジャージ登校の対応を通常に戻すことといたしますが、御心配なことがあれば、学校へご相談ください。

お世話になりました

2年という短い間でしたが、お世話になりました。定年退職まで数年ありますが、身内のことや自分の不調が続く中、若くて知識豊富な先生方と一緒にさせていただき、後身に後を譲る決心を固め、退職します。最後まで一教員として現場で働けたことは、希望通りの人生だったと、幸せな気持ちでいっぱいです。恵陵高校卒業後、就職し約40年、働き学びまちおこしなどしながら、頑張ったと思います。ゆっくりします。教育現場の皆さん、生徒の皆さんはじめ、下川町の皆さん、本当にありがとうございました。 植田 美保子

下川町へ赴任し、「本当にジャンプ台が目の前にある！」と感動したのを今でも覚えています。緑豊かな地で、保護者の皆さま、地域の皆さまに支えていただいた7年間でした。

初夏にアスパラや小ネギをいただいたり、自宅の裏で草取りをしていた際には、ご近所の方からいなり寿司やトマト、キュウリをいただいたこともありました。心温かな町で勤務できて幸せでした。下川中の生徒の皆さん、いつまでも「創造敬愛」の心で、多くを学び、たくさんの人との関わりを大切に、素敵な人生を送ってください。皆さんの今後の活躍をこれからも応援しています。 五十川 徹

4年間、大変お世話になりました。下川中学校の素直で心優しい生徒たちと過ごした日々は、私にとってかけがえのない時間でした。生徒、保護者、地域の方々に支えられ、多くを学び、充実した教員生活を送ることができました。新任地においても、下川町での経験を生かして、生徒と共に成長できるよう、頑張っていきたいと思っています。本当にありがとうございました。 吉田 奈津美

2年という短い間でしたが、お世話になりました。昨年4月に結婚をし、この度、夫のもとで新しく生活を始めるため、退職することとなりました。下川中学校の一員として職員や生徒に恵まれて仕事をすることができていただけに、退職という選択をすることはとても残念ではありますが、生活が落ち着いたなら、また養護教諭として働きたいと思っています。生徒や保護者の皆さん、町民の皆さん、そして教職員の皆さんに支えられ働くことができ、とても幸せでした。ありがとうございました。 成田 有里